

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成27年12月8日 (火)

■福祉サービス事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム 灘海園	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	施設長 丸林稔夫	開設年月日	昭和47年7月3日
設置者	社会福祉法人 山口県社会福祉事業団	定員	100名
所在地	〒740-0037 岩国市愛宕町1-5-1		
電話番号	0827-32-0315	FAX番号	0827-32-7554
ホームページアドレス	nadami@jigvodan-vg.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

法人理念「その人らしさを大切に」を具現化する中期経営計画、それに基づく事業計画が策定され、福祉マインドの熱い施設長のリーダーシップのもと、事業計画に基づいた活動を推進するために、委員会が組織されるとともに、サービスごとにきめ細かなマニュアルが整備され、それに基づいていねいなケアが良好な多職種連携のもと提供されています。

入居者の身だしなみに配慮がなされており、穏やかな表情はサービスの質の高さを示しています。年1回の自己評価と3年ごとの第三者評価を活用され、サービスの質を継続的に改善されています。利用者満足度調査や苦情相談聴き取りなど、利用者本位のサービス提供を高いレベルでの実現を目指す姿勢は高く評価できるものであり、このことが入居者・家族の信頼につながっています。

人事考課制度や自己申告書が職員一人ひとりのモチベーションの維持向上につながっているものであると推測されます。また、積極的な障害者雇用、事業継続計画(BCP)の策定は、他法人・施設のモデルとなるものであり、高く評価できます。

◇改善を求められる点

事業計画などPDCAサイクルが回っていますが、P(計画)→D(実施)に終始している感があります。C(評価)→A(改善)に目を向けた取組を推進することで経営の質がさらに高まると考えます。事業計画について、年度末にできたかどうかを何を根拠に評価するのか、計画立案時に考えることが重要ではないかと考えます。

介護人材の確保が難しくなるなか、ユニットケアのデメリットとされる職員の量と質の問題(多くの職員を要し、また職員一人ひとりに高い力量が求められること)をサービスの質を落とさず(入居者満足度を維持)に解決していただき、山口県のユニットケア施設のモデルとなる取組を期待します。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

平成25年にユニット型特養として生まれ変わり、初めての受審となりました。(施設としては4回目の受審)

今回の受審において評価調査者の方からいただいた助言の一つひとつを真摯に受け止め、それを基に、改善すべき点、充実・拡充すべき点について取組んでいき、更なるサービスの質の向上への努力を進めていくとともに、灘海園が入居者・家族にとって安心・安全な場を提供し、地域にとって信頼される施設であり、職員にとって働き甲斐のある職場であるよう、今後も一歩ずつ着実に確実に歩いていく所存です。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	8	b	1	c	0	Na	0
<p>法人の基本理念「その人らしさを大切に」と3つの目標(基本方針)を具現化すべく法人としての中期経営計画が策定され、それに基づいた単年度の事業計画が策定されています。毎年山口県社会福祉事業団施設サービス自己評価等実施要項に基づく自己評価をされるとともに、3年ごとに福祉サービスの第三者評価を受審され、内部及び外部からサービス評価を実施されていることは高く評価できます。時代の変化による利用者ニーズの変化を捉え、法人・施設もそのことへ対応していくことが可能になっていると考えます。</p> <p>ただし、事業計画については、そのことができたかどうかの評価が困難なものも少なくありません。年度終了時の事業報告において「実施した」「努めた」と整理されています。具体的な数値や項目を記載するなど、評価を行いやすい事業計画目標の検討が望まれます。</p>								

II 組織の運営管理	a	14	b	4	c	0	Na	0
<p>施設長のリーダーシップのもと、事業計画に基づいた活動を推進するために、業務分掌と担当職員が明確化され、委員会が組織されるとともに、サービスごとのきめ細かなマニュアルが整備されそれに基づいていねいなケアが提供されています。委員会や会議などの様々な内部コミュニケーションが機能し、良好な多職種連携が図られています。</p> <p>また、人事考課についてこれまで実施されていた主任級以上に加え、一般職員にも試行として拡大導入されています。人事考課が職員のモチベーションの維持向上につながっていることを確認されながら、透明性のある制度構築を期待します。職員の教育・研修にも力を入れていますので一人ひとりの教育・研修計画やその達成度を人事考課と連動させてみてはどうでしょうか。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	18	b	0	c	0	Na	0
<p>入居者満足度調査による満足度の把握・向上を目指す取組の展開、入居者が意見を述べやすい体制の確保としての入居者懇談会の実施やボランティアによる苦情相談聴き取りの実施は、利用者本位のサービス提供を実現するための取組であり、開かれた施設として、入居者・家族の安全・安心から信頼につながっています。</p> <p>今後は、入居者満足度調査の回答率を高める工夫やより確度の高い結果を得る工夫、職員の満足度調査(職員の仕事満足度を高めることがより良いサービス提供につながり、結果として入居者満足度の向上につながると考えられる)などの取組を期待します。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	33	b	1	c	0	Na	0
<p>24時間シートを活用した、一人ひとりの「その人らしい」生活を実現するケアプランが策定されるとともに、サービス場面ごとのきめ細かなマニュアルは、その共有と見直しがされており、それに基づく良質なサービスが提供されています。</p> <p>ユニット炊飯やユニットでの出前調理など、ユニット設備を有効に活用した取組も評価できます。</p> <p>また、看取りケアも「施設で最期を迎えたい」入居者家族の思いに応える体制が整っています。プラスワン事業と銘打つ地域貢献事業のさらなる充実・発展を期待します。</p>								